

2023-2024

岩手大学 海外留学 体験報告



目次

交換留学

Page

4

「想像以上のアメリカ生活～日米の教育に注目して～」
アメリカ合衆国 ノースセントラルカレッジ

6

「フランス・ボルドーへの交換留学」
フランス ボルドー・モンテーニュ大学

8

「Haruka in Bordeaux」
フランス ボルドー・モンテーニュ大学

10

「何とかやり遂げた上海留学」
中国 上海海洋大学

12

「語学力だけではなく視野も広がった中国留学」
中国 寧波大学

短期留学

14

「素敵な出会いに大感謝☆」
タイ キングモンクット工科大学トンブリー校

16

「多くのことを学んだ留学」
タイ キングモンクット工科大学

18

「韓国・全南大学校でのAIと異文化交流プログラム」
韓国 全南大学校

20

「世界最先端の知識獲得と研究を行う十分な英語スキルの向上」
タイ キングモンクット工科大学トブリー校

22

「特別な一か月」
タイ キングモンクット工科大学トブリー校

24

「アイスランドから見る岩手の農業～地熱を活用して農耕活性化を図る～」
アイスランド world wide frends.

26

「オーバーン大学での獣医学生留学プログラム」
アメリカ合衆国 オーバーン大学



個人旅行



28

「言語の壁を越えて広がる世界」
アメリカ合衆国 カリフォルニア州



動画での留学体験報告



動画

【2024 岩手大学国際月間】
【-Iwate University International Month】

留学のタイトル：「想像以上のアメリカ生活～日米の教育に着目して～」



留学先：アメリカ合衆国／イリノイ州／ネイパービル／ノースセントラルカレッジ

留学期間：2023年 8月～ 2024年5月
(9か月)

氏名：三浦 遥

留学した時の学年：4年

学部・研究科名：教育学部

学科・課程名・コース名：学校教育教員養成課程

小学校教育コース英語サブコース

● 留学の内容

JASSOの奨学金給付に関連して、いわて『Glocal』教育人材育成プログラムで「私の視点からの日本教育の長所と短所」というテーマをもとに、現地の大学で、教育学と英語を中心とした学問を学びました。教育学の授業では、課外活動で近隣の小学校へ行き、授業観察を行ったり、子ども博物館のボランティアとして活動したりしました。これらの経験を通して、多くの人と出会い、その土地の文化や特色、英語の言い回しなどを知ることができました。

● 留学の動機

大きなきっかけとなったのは、約2週間の短期でタイ王国に行き、現地の中高生に英語で授業をするというプログラムに参加したことです。ここで、英語でコミュニケーションをする難しさと楽しさを学び、文化や価値観の違いに衝撃を受けたことが今回の長期留学の決め手でした。

● 留学の成果

英語で教育学や興味のある分野を学ぶという経験を通して、英語はコミュニケーションのツールに過ぎないということに気がきました。また、英語を話すという抵抗感が減り、友達や先生との会話を楽しめるようになりました。受講していた教育学の授業では、フィールドワークとして現地の小学校に行き、授業参観を行うことで、日本の教育との違いを実際に見ることができたのが大きな成果です。

● スペシャルエピソード

小学校からやっていたバレーボールを通して、大学外の友達ができ、週に2～3回キャンパス外の体育館にプレーしに行ったことが思い出です。彼らとはチームメイトとして地域のトーナメントに出場したり、休みの日にはシカゴに遊びに行ったり、映画を見たりなど、ひとりではできなかったことをたくさん経験することができました。帰国後も連絡を取り合っていて、「また遊びに行こう」、「今度は日本に行くね」というようなことも話しています！ 日常の些細なことも共有できるのが楽しみの一つです。

● これから留学したい人へアドバイス

私は「まさか自分が留学するとは！」と思っていた人間ですが、今思うと、「留学したい」という思いに合うプログラムがあって、勢いのままに行けたことに驚いています。少しでも留学に興味のある人は是非、国際課や担当の先生に相談してみてください！ 人生を変える大きな一歩になると思います。

● 留学費用について

① 総費用：296万円

(内訳 渡航費33万円、学費(岩手大学に) 52万円、宿舍・光熱水費・食費188万円、ビザ・保険料13万円、お土産代他10万円)

② 費用負担 自己負担40万円、親からの支援180万円、留学奨学金77万円

③ 使ったお金の割合：現金10%、クレジットカード (VISA) 70%、トラベルプリペイドカード 20%

● 留学先宿舍について

・形態：大学寮 (2人部屋に1人で住んでいました。)

・家賃額：2セメスター (9か月) 188万円 (食費・光熱費含む)

・参考情報：部屋にはベッド、デスク、クローゼット、エアコンがあり、各フロアには共用のトイレとシャワー、1階には共用のキッチンと洗濯・乾燥機がありました。

学生証をかざして、大学内の食堂を利用できます。

● 語学力について

・現地で使用した言語：英語

・語学レベルUP：リスニング力、スピーキングの即興性が高まりました。

TOEICは150点ほど点数が上がりました。

・適正レベル：TOEFL ibt 68以上が要件でしたが、80程度あると授業についていきやすいと思います。

● ビザについて (取得した方)

東京の米国大使館でJ-1ビザの申請・発行を行いました。

● ネット環境及びその他の参考情報

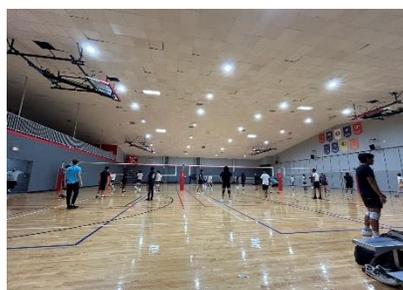
大学・寮にはWi-Fiがあるため、携帯やタブレット、パソコンをつなぐことができます。

そのほかの場所ではWi-Fiがないところもあるため、アメリカで使えるSIMを契約しました。

授業や課題ではパソコンを使うことが多かったです。

● 留学中の主なスケジュール (秋学期)

曜日/日程	午前	午後
月曜/1日目	教育学・英語・環境の授業	友だちと課題・バレー
火曜/2日目	課題	教育学の授業
水曜/3日目	教育学・英語・環境の授業	友だちと課題・バレー
木曜/4日目	課題	教育学の授業
金曜/5日目	教育学・英語・環境の授業	イベント・バレー
土曜/6日目	友だちと課題	お出かけなど
日曜/7日目	課題・お出かけなど	バレー



写真① バレーボール



写真② 野球観戦 カブスvsドジャース



写真③ シカゴのビーチ (ミシガン湖) から

留学のタイトル：「 フランス・ボルドーへの交換留学 」

留学先： フランス／ボルドー
ボルドー・モンテーニュ大学
留学期間： 2023年9月～2024年5月
(9ヶ月)

氏名：須藤優希乃
留学した時の学年：2～3年
学部・研究科名：人文社会科学部
学科・課程名・コース名：人間文化課程
ヨーロッパ語圏文化論専修

●留学の内容

大学に付属する語学学校 DEFLEにて9ヶ月間の交換留学を行いました。日本で事前に受けたテストによってレベル分けされます。授業内容は4技能が主ですが地理、文化等も学ぶことができ、中級レベルになると加えて選択授業も受けられました。

●留学の動機

大学入学前から留学を志しており、フランスを選んだ理由は2点ありました。1つは絵画をはじめとするフランス文化に惹かれていたから。もう1つはフランス語の学習を通してフランス語という言語に惹かれ、ネイティブの発音や表現を身に着けたいと考えていたからです。

●留学の成果

語学能力の向上はもちろんですが、異国の地の「あたりまえ」を経験することで自国の「あたりまえ」に対する有り難さを痛感しました。また、デモやストライキによるトラブルを幾度となく経験し、大抵のことには動じない心と臨機応変に対応する判断力を養うことができました。

●スペシャルエピソード

フランスでは、EU圏内の学生証を提示すると美術館などの施設に無料で入ることができます！私はそれを利用して休日は美術館巡りをしていました！200€以上もお得に鑑賞することができました。

●これから留学したい人へアドバイス

留学はもちろん、辛いことや苦勞の連続です。しかし、その経験から得られる価値観や感情は一生ものです。迷うなら進め。楽しいだけなら旅行で十分。辛いからこそ、「留学」なのだとは思います。失敗も悔しさも悲しさも、それらも含めた全てがきっとあなたの宝物になるはずです。

●留学費用について

①総費用：130万円～（1€＝160円）（内訳 渡航費25万円、宿舎費35万円、食費15万円、ビザ・保険料10万円、日用品など10万円 交際費20万円 お土産代他15万円、・・・）

②費用負担 自己負担30万円、親からの支援80万円、留学奨学金20万円

③使ったお金の割合：現金20%、クレジットカード（カード名）80%

●留学先宿舎について

・形態：大学寮

・家賃額：月 約4万円（水道光熱費含む）

※途中からフランスの家賃補助制度を利用したため月額3万円程度

・参考情報：○家賃補助申請の手続きが複雑かつ申請した月からしか補助を受けられないため到着したらすぐに申請することをお勧めする。

○部屋の詳細 12㎡。壁付きの長机、椅子、クローゼット、棚備え付け。ベッドは備え付けだが枕、シーツ、毛布は無し。シャワー・トイレは自室に有。（浴槽無し）。 キッチン・冷蔵庫は5人で1つを共有。掃除は自分たちで行う。 電子レンジ・オーブンはなし。洗濯は寮のコインランドリー（1回3€）を利用。

●語学力について

・現地で使用した言語：フランス語・英語

・語学レベルUP：前 仏検3級レベル→後 仏検2級レベル(聴解力が飛躍的に向上した)

・適正レベル：日常会話レベルがあれば理想。全く話せなくてもコミュニケーションをとることは可能だが、語学力があればより深い会話を楽しむことができる。

●ビザについて（取得した方）

学生ビザを取得、申請がかなり複雑なので余裕を持って準備したほうがよい。

●ネット環境及びその他の参考情報

スマホ・パソコンは日本から私物を持参。Wifiは大学・寮ともに使用できるが接続は悪い。現地で学生向けの食料配給(Linkee)がありそちらを利用していた。

●留学中の主なスケジュール

曜日/日程	午前	午後
月曜/1日目	日本語学科の授業でボランティア	友人と図書館で勉強
火曜/2日目	授業（会話）	韓国サークルの仲間と活動
水曜/3日目	授業（作文・文化）	授業（読解・発音）
木曜/4日目	美術館巡り・散歩	授業（文法・読解）
金曜/5日目	日本語学科の授業でボランティア	授業（文法）
土曜/6日目	課題をする・趣味の時間	友人宅でパーティー
日曜/7日目	マルシェで買い物	バレエ・オーケストラなどを鑑賞



お散歩中に見つけたお店



学食のお気に入りメニュー



ボルドー近郊の砂丘と浜辺

留学のタイトル：「 Haruka in Bordeaux 」



留学先： フランス／ボルドー／
ボルドー・モンテーニュ大学
留学期間： 2023年 9月～ 12月
(約4か月)

氏名： 古舘晴香
留学した時の学年： 2年
学部・研究科名： 人文社会科学部
学科・課程名・コース名： 人間文化課程

● 留学の内容

ボルドー・モンテーニュ大学に併設されているDELFEという語学学校に通いました。フランス語の授業のほかに文化や地理の勉強もしました。クラスにはさまざまな国の人が出て、一学期だけでとても仲良くなりました。他にも、チューターや日本語の授業のクラスで仲良くなったフランス人の友人と休日や放課後は一緒に過ごしていました。

● 留学の動機

幼い頃から異文化交流に興味があり、さまざまな国の人と関わってみたいという思いがありました。大学入学後フランス語を履修したことをきっかけに、フランスという国に魅力を感じたので、フランスへの留学を決めました。

● 留学の成果

今まで出会ったことのない価値観や文化に対して「こういう文化もあるんだ、面白いな」と思い、たくさんの新しいことに挑戦できました。自分に自信をもつきっかけにもなりました。

● スペシャルエピソード

チューターをしてくれた方の実家へ泊まりに行ったことです。フランスの家庭料理を初めて体験できたし、同じボルドーでも田舎の方だったので、全く別のフランスの綺麗な景色を見ることができました。そこで初めてビズー（頬にキスで挨拶）を交わして、頬に思いっきりぶつかってしまって、ごめんなさいって言われました。

● これから留学したい人へアドバイス

今まで見たことなかった景色にたくさん出会えます！ぜひ行ってみてください。

● 留学費用について

① 総費用：約 60 万円

(内訳 渡航費約 20 万円、学費 0 円、宿舍費 2 万 5000 円 × 4 円、光熱水費 0 円、食費 5 万円、ビザ・保険料 8 万円、お土産代 2 万円、自由 (旅行など) 15 万円)

② 費用負担 自己負担 15 万円、親からの支援 30 万円、留学奨学金 15 万円

③ 使ったお金の割合：現金 5%、クレジットカード (VISA) 95%、トラベルプリペイドカード (カード名) 0%、その他 (具体的に記載) 0%

● 留学先宿舎について

・形態：大学寮

・家賃額：月額 2 万 5000 円 (高熱・水道費含む)

・参考情報：トイレ、シャワー、ベッド、洗面台、電子レンジ、机、椅子、クローゼット、狭い、管理人が勝手に入る (点検などで)、布団等はなし

● 語学力について

・現地で使用した言語：フランス語

・語学レベルUP：今度 2 級受ける

・適正レベル：3 級

● ビザについて (取得した方)

フランス大使館に行って 7 月ごろに取得しました。書類がたくさんあるので準備は早めにするをおすすめします。

● 単位互換について (該当ある方)

6 科目分振替できます。

● ネット環境及びその他の参考情報

Wifiあり、Free MobileのSIMカード

● 留学中の主なスケジュール

曜日 / 日程	午前	午後
月曜/1日目	自由	バスケの授業
火曜/2日目	日本語クラスの手伝い	自由
水曜/3日目	自由	授業 リスニング、スピーキング、文法、文化
木曜/4日目	授業 リーディング、ライティング、文法	
金曜/5日目	授業 授業 リスニング、文法	授業 発音、リスニング、文化
土曜/6日目	自由 観光、買い物など	自由
日曜/7日目	自由 友達と遊ぶ	自由



クラス写真 個性豊かで本当に楽しかったです



チューターといった砂浜 今までで一番綺麗な夕日



ルーブル美術館って本当にあったんだ！ってなりました

留学のタイトル：「 **何とかやり遂げた上海留学** 」



留学先：中国／上海／上海海洋大学

留学期間：2023年9月～2024年1月
(5か月間)

氏名：熊谷眞菜香

留学した時の学年：4年

学部・研究科名：農学部学部

学科・課程名・コース名：食料生産環境学科

●留学の内容

午前中は中国語のクラスで様々な国籍の子達と授業を受けていました。午後は研究室で研究したりショッピングモールにご飯を食べにいきました。土日は休みなので南昌や北京に友達と旅行にいきました。クリスマス会や誕生会など留学生と現地の学生と一緒に企画するイベントもたくさんありました。

●留学の動機

学生生活を通して何かをやり切った経験が欲しいと考え、留学することを決めました。初めは英語圏や韓国を考えていましたが、全く縁のない中国に結果的に行くことが決まり、不安半分ワクワク半分でした。

●留学の成果

中国に到着した当初は“你好”しか中国語を知らなかったのですが、周りに日本人留学生が私しかいなかったため、帰国する頃には自分の意思を中国語で伝えられるくらいには語学力を伸ばすことができました。

●スペシャルエピソード

現地ですぐにできた友達と北京に旅行に行った日は気温が-14℃で人生で経験した中で一番寒い日でした。

日本食が恋しくなり、日本から持っていったカップヌードルを食べようとして、電気ポットをガスコンロにかけてボヤ騒ぎを起こしたこともすごく記憶に残っています。

●これから留学したい人へアドバイス

周りと同じように生活しないと、おいてかれているように感じる人も多くいるかもしれませんが、全くそんなことはありません。就活や卒業のことなど悩みは尽きないかもしれませんが、外の世界に飛び出してみると案外どうにかなるので、一番若い今を無駄にしないようにたくさん自分の心に正直になって行動してみてください！！

●留学費用について

①総費用：45万円

(内訳 渡航費10万円、学費0円、宿舍費10万円、光熱水費2.5万円、食費7.5万円、ビザ・保険料10万円、お土産代他5万円)

②費用負担 自己負担10万円、親からの支援30万円、留学奨学金15万円

③使ったお金の割合：現金10%、クレジットカード(VISA名) 90%

WeChatとAlipayにクレジットカードを登録して決済をしていました。

●留学先宿舎について

・形態：2人部屋

・家賃額：6か月 額 10万円(別途費用なし)

・参考情報：ホテルのような感じ、清潔感はある。2倍の金額(20万)を支払うと1人部屋も可能
ドライヤー、シーツ、エアコン・暖房あり/洗濯干しなし

●語学力について

・現地で使用した言語：中国語

・語学レベルUP：HSK4級合格

・適正レベル：中学英語

●ビザについて

北海道札幌の中国領事館で半年間申請

●ネット環境及びその他の参考情報

学校内にWi-Fiあり、学校内に携帯ショップがあるのでそこでsimカードが購入できる。
現地のボランティアが大体のことはサポートしてくれる。

●留学中の主なスケジュール

曜日/日程	午前	午後
月曜/1日目	初級中国語授業	研究室で実験
火曜/2日目	初級中国語授業	研究室で実験
水曜/3日目	初級中国語授業	友達とショッピング
木曜/4日目	初級中国語授業	研究室で実験
金曜/5日目	初級中国語授業	友達とショッピング
土曜/6日目	市内に旅行	市内に旅行
日曜/7日目	授業の予習・復習	日本語科の子達と交流



留学生たちとご飯



上海市内の景色



授業風景

留学のタイトル：「 語学力だけではなく視野も広がった中国留学 」

留学先：中国／浙江州／寧波／
寧波大学

留学期間：2024年3月～7月
(半年間)

氏名：中島悠乃

留学した時の学年：3年

学部・研究科名：人文社会科学部

学科・課程名：人間文化課程／アジア圏文化専修プログラム

● 留学の内容

語学留学でした。同じように中国語を学びたい外国人たちと同じ教室で学びます。先生は中国語で中国語を教えてください。総合、リスニング・スピーキング、読解の授業があり、中国語のレベルによってクラスが分けられて授業をします。私は中級クラスでしたが、最初は先生の言葉を聞き取れなくても、慣れると聞き取れるようになりました。私のクラスでは毎日単語テストがあったため、単語力もあがりました。

● 留学の動機

現在、中国は短期間の旅行であってもビザの取得が必要です。最初は長期休み期間中に行って帰ってくる事ができる短期留学を考えていましたが、ビザを取得する手間や費用を考えた結果、半年間の交換留学を希望しました。

● 留学の成果

帰国後、HSK 4 級を取得しました。5 級の勉強をはじめています。

● スペシャルエピソード

帰国のため寧波から上海に移動する際、キャリーケース 2 つを持って地下鉄に乗ろうとした時に、駅員の方や歩いていた人がキャリーケースを持って手伝ってくれたことです。駅員の方が一緒に地下鉄に荷物を乗せてくれたり、近くを歩いていたお兄さんがキャリーケースを 1 つずつ持って階段をのぼる私を見て、片方を持ってくれました。とても助かりました。

● これから留学したい人へアドバイス

岩手大学は留学を希望する学生への支援が手厚い大学だと思います。せっかく岩手大学に入学して、留学にも興味があるなら挑戦した方がいいと思います！

● 留学費用について

①総費用：約35万円

(内訳 渡航費10万円、学費0円、宿舍費10万円、光熱水費5千円、食費10万円、ビザ・保険料3万円)

別途旅行に行った時の費用がかかっています。

②費用負担 親からの支援10万円、留学奨学金約25万円

③使ったお金の割合：現金0%、クレジットカード(VISAカード) 100%

バーコード決済が主流なので、現金で支払えない・お釣りがないことがあります。

● 留学先宿舎について

・形態：一人部屋

・家賃額：4ヶ月 額 約10万円

・参考情報：1ヶ月1200元。水道は1ヶ月80元。電気代は最初に200元チャージします。

● 語学力について

・現地で使用した言語：中国語・英語

・語学レベルUP：聞き取る力はかなり上がりました。

・適正レベル：全くできなくても問題ないですが、2外で1年間勉強したほうがより有意義になると思います。

● ビザについて (取得した方)

北東北は北海道、南東北は新潟にある大使館で取得します。私は住民票を実家から移動してないため、新潟で取得しました。平日のみ受付なので注意が必要です。

● 単位互換について

中国語学講義・中国語学講読・中国文学講義に振り替えて申請しました。

● ネット環境及びその他の参考情報

寮・大学のネットは使えなかったため、スマホとテザリングして使っていました。

● 留学中の主なスケジュール

曜日/日程	午前	午後
月曜/1日目	授業	授業
火曜/2日目	授業	授業
水曜/3日目	授業	
木曜/4日目	授業	授業
金曜/5日目	勉強	
土曜/6日目	友達と出かける	
日曜/7日目	ゆっくりする	



写真①西安・兵馬俑



写真②宁波步行街 (屋台)



写真③大学

短期留学

留学のタイトル：「素敵な出会いに大感謝🌸」



留学先：タイ/バンコク/キングモンクット工科大学トンプリー校

留学期間：2023年 8月 27日～ 9月 9日（2週間）

※2024年以降の同プログラムとは内容が少々異なる可能性があります。

※2024年度は2週間か4週間か選択できましたが、2023年度は2週間のみでした。

氏名：木下 なつめ

留学した時の学年：2年

学部・研究科名：理工学部

学科・課程名・コース名：化学・生命理工学科 生命コース

●留学の内容

ツナ工場や印刷工場の見学を通し、タイの物流や文化について学びました。

また、プログラムの7割程度は東京大学・昭和女子大学と合同でした。彼らは主にビジネス研修目的で参加していたため、工場見学はほぼ岩大生のみでした。

●留学の動機

理工学先端特別プログラムに所属しており、同プログラムでは国際研修の単位を取得する必要があるため。留学期間の割に費用が安く、物価が安いことも魅力的に感じました。

また、大学を経由するため個人で行くよりも安心できると感じたから。初めての発展途上国であったため、まずは後ろ盾がある状態で訪れたいと思っていました。（留学から1年後にインドネシアのバリ島に友人と旅行で訪れたが、タイでの経験もあり、ショックな出来事や困難はほとんどなかった。）

●留学の成果

語彙力や文法力に自信が持てなくても意思を伝える姿勢が身につきました。英語が通じない方でも物おじせずコミュニケーションを取る姿勢が身につきました。語学学習においてコミュニケーションをとる態度・姿勢は重視

●スペシャルエピソード

たまたまミラーボール付きの個人タクシーに乗車でき、クラブのように盛り上がったこと。運転手がJ-POPを流して盛り上げてくれ、非常に楽しいひと時でした。

プログラム終了後は毎日東京大学の学生と様々な観光地を訪れ、帰国後は一緒にUSJに行くほど親交を深められました。かけがえのない友を得ることができ、参加して良かったと心から思います。

●これから留学したい人へアドバイス

自分の世界を広げ、価値観を再構築するのに留学は最善の手段だと思います。自分はこのままでいいのか、本当は何がしたいのか、悩んだときはぜひ海外に行ってみてください。タイは非常にコスパが良く、はじめての留学にも十分おすすめできます。

ただし衛生環境は決して良いとは言えません。トイレットペーパーのないトイレ、狂犬病をもった野良犬、信号のない道路、大麻、そしてスパイシーな料理には覚悟してください。

● 留学費用について

① 総費用：40万円

(内訳 渡航費12万円、学費(宿泊費、一部食費込) 21万円、現地で使ったお金7万円)

② 費用負担 自己負担25万円、留学奨学金15万円 (理工学部後援会5万円、グローバル理工系人材育成事業10万円)

※留学直前の7月に留学とは無関係の理工学部の奨学金24万円をいただき、それを留学費用として補填したため、ほぼ自己負担なしでした。毎年5月に募集があり、GPAとTOEICスコア、プレゼンで審査されるので、チェックしてみてください。

③ 使ったお金の割合(現地)：現金67%、クレジットカード(VISA) 33%

● 留学先宿舎について

- ・形態：ホテル (Park Village Rama2)
- ・家賃額：学費に含まれています。
- ・参考情報：近くに大きいショッピングモールあり。ホテルでのベッドメイクが不十分で一度フロントに苦情を入れました。ティッシュの空き箱やトイレトーパーの芯など、チップを置く場所を工夫して補充してもらいました笑 ホテルの清掃員は英語がわからないので、フロントを通すか、非言語で伝える工夫が必要です。

● 語学力について

- ・現地で使用した言語：英語 (・タイ語)
 - ・語学レベルUP：帰国3ヶ月後に英検準1級取得 (スピーキングも楽々通過できました)
 - ・適正レベル：日常会話ができ、アカデミック英語が少しわかる (英検2級、TOEIC 500点程度)
- 英語での講義・グループディスカッションがあるので、それに対応できれば大丈夫です。
大学内、観光地は英語が通じますが、それ以外の場所だとタイ語しか通じないので翻訳アプリを駆使して生活していました。

● 単位互換について (該当ある方)

理工学部の「国際研修」という授業で行きました。専門の選択科目2単位に該当します。

● ネット環境及びその他の参考情報

ホテル・大学はWi-Fi完備ですが、大学外での活動も多いので事前に通販等で海外SIMを買っておくと良いと思います。PCやタブレットを持参している人もいました。両替はバンコク空港地下1FのSuper Richがお得です。

● 留学中の主なスケジュール

曜日/日程	9時～16時	16時以降
日曜日/1日目	飛行機	到着し、空港で両替/ショッピングモールで食事
月曜日/2日目	現地の大学(KMUTT)で授業 (アイスブレイキング、タイの文化について)	自由時間 (ホテル近くのショッピングモール散策)
火曜日/3日目	工場見学 (Sahakiji & KRUGER)	ホテルで他大学の学生と交流
水曜日/4日目	工場見学 (味の素)	アユタヤ訪問 (世界遺産の見学)
木曜日/5日目	KMUTT内の会社や研究室見学	自由時間 (お土産の購入や洗濯等)
金曜日/6日目	KMUTTで授業 (物流について)	自由時間 (中華街散策)
土曜日/7日目	バンコクの寺院・博物館見学	自由時間 (ナイトマーケット散策)
日曜日/8日目	1日自由時間 (水上マーケット・チャトチャック市場・ルーフトップバー)	



ルーフトップバーでいい眺めと🍸



中華街でサソリを美食🍷



ミラーボールタクシー

留学のタイトル：「多くのことを学んだ留学」



留学先：タイ王国／バンコク／
キングモンクット工科大学(KMUTT)
留学期間：2024年 8月～ 9月(約4週間)

留学した時の学年：3年
学部・研究科名：理工学部
学科・課程名・コース名：化学生命学科化学コース

●留学の内容

前半二週間はGMI(Graduate School of Management and Innovation)という大学の組織が主催する“Sustainability Abroad Summer School”に参加した。このプログラムでは、現地の大学生や他の日本の大学の生徒と英語を通してタイの文化について学んだ他、現地の文化財、企業を訪問し見学した。後半二週間はKMUTTの研究室に配属され、教授やその研究の学生の実験を行い、研究の体験をすることができた。

●留学の動機

幼いころから英語を学んできたが、それを活用しないのはもったいないと思いこのプログラムに参加した。

●留学の成果

英語を約一か月聞き続けたため、リスニング力が向上した。また、英語でのプレゼンテーションの形式の学んだり、英語の論文を読むことができた。

●スペシャルエピソード

実験を現地の学生と行ったが専門器具の名前やある手順の名前を最初は聞き取ることができなかった。しかし、スマホの電波が届かない場所であったため、コミュニケーションが大変だった。こうした事態を防ぐため、電子辞書を持っていくと良いかもしれない。

●これから留学したい人へアドバイス

自分の英語力にあまり自信がないという人でも、ぜひ積極的に参加してほしいと思う。むしろそういう人ほど、終わった後の自信になるだろう。

● 留学費用について

①総費用：約40万円

(内訳 渡航費10万円、諸経費約25万円、食費30000円、保険料5000円、お土産代他3万円)

②費用負担 自己負担 x x x 円、親からの支援 x x x 円、留学奨学金 x x x 円

③使ったお金の割合：現金90%、クレジットカード(カード名) 10%

● 留学先宿舎について

・形態：ホテル

・家賃額：4万円

● 語学力について

・現地で使用した言語：英語

・語学レベルUP：TOEICリスニング点数 大幅増加

● ネット環境及びその他の参考情報

現地の食べ物は辛い物が衛生面に不安がある物が多いため、胃薬は必携

● 留学中の主なスケジュール

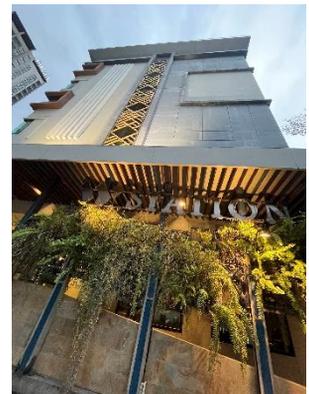
曜日/日程	午前	午後
月曜/1日目	オリエンテーション、ビュッフェランチ	タイ文化講習 現地の学生と夕食
火曜/2日目	工場見学	ショッピングモールの探索
水曜/3日目	マングローブ林見学	寺院見学
木曜/4日目	伝統衣装を着て寺院見学	日本人村見学
金曜/5日目	工場見学	企業見学
土曜/6日目	企業見学	企業見学、現地の学生と夕食
日曜/7日目	ゾウと触れあいツアー	マーケットで買い物



レストランでの食事



アユタヤの寺院



宿泊したホテル

留学のタイトル：「韓国・全南大学校でのAIと異文化交流プログラム」

留学先：国／地域／都市／
機関名 韓国/光州/全南大学校
留学期間：2024年 8月5日～8月19日

氏名：尾宮啓太
留学した時の学年：2年
学部・研究科名：農学部
学科・課程名・コース名：食料生産環境学科水産システム学
コース

●留学の内容

2週間の留学プログラムでは、AI技術や韓国文化が中心でした。初日は、全南大学（CNU）へ移動し、翌日からは、AIの授業や、CNUキャンパスツアー、韓国語講座、研究発表準備を行いました。週末には、韓国の伝統料理の体験や光州・麗水観光があり、文化に触れる機会もありました。また、韓国航空宇宙産業（KAI）やPOSCO、韓国電力公社（KEPCO）など、韓国を代表する企業を訪問し、最先端の技術について学びました。最終日には、研究発表と修了式が行われ、ソウル観光も行い、充実した留学の経験をしました。

●留学の動機

私は、養殖業における課題をAI技術で解決する可能性に強い興味を抱き、このプログラムに参加しました。私は、この留学を通じてAI技術に関する知識を深め、養殖業にどのように応用できるかを探り、将来的に食糧問題解決に貢献したいという姿勢で臨みました。

●留学の成果

留学を通じて、実用的なAI技術について学ぶことができました。また、韓国の最先端企業訪問や現地の学生との交流を通じて、異文化理解を深め、国際的な視野を広げることができました。

●スペシャルエピソード

ショッピングの際に英語だけでなく、日本語が通じることが多く、とても親切な方々ばかりでした。現地でタクシーを利用したのですが、タクシー代がとても安く、便利だと感じました。その背景には韓国では鉄道網が少ないとわかりました。

●これから留学したい人へアドバイス

自分が留学で何を学びたいのか、具体的な目標を明確にすることが重要だと思います。留学先での学びが自分のキャリアや将来の計画にどう繋がるかを考え、プログラムを選ぶことで姿勢の度合いが変わってくると思います。現地での学びや生活には予期せぬことが起こるかもしれませんが、これらの経験を楽しみ、最高の思い出を作ることが留学では可能だと思います。

● 留学費用について

① 総費用：50000円

(内訳 渡航費0円、学費0円、宿舍費0円、光熱水費0円、食費15000円、ビザ・保険料5000円、お土産代他30000円、…)

② 費用負担 自己負担50000円、留学奨学金 (韓国政府) 55万円

③ 使ったお金の割合：現金30%、クレジットカード (カード名) 70%

● 留学先宿舎について

- ・形態：二人部屋・トイレ・シャワー付き
- ・家賃額：日・週・月 額 0円 (光熱費含む)
- ・参考情報：

● 語学力について

- ・現地で使用した言語：英語、韓国語
- ・語学レベルUP：韓国語：読み書き可能になった
- ・適正レベル：英語TOEIC700~

● ビザについて (取得した方)

● 単位互換について (該当ある方)

● ネット環境及びその他の参考情報

寮には備つきのWi-Fiあり、ジム、コンビニ、カフェもある
日用品 (洗剤、トイレトーパー、シャンプーなど) は自費

● 留学中の主なスケジュール

曜日/日程	午前	午後
月曜/1日目	空港到着	バス移動 (仁川空港→CNU)
火曜/2日目	キャンパスツアー	オリエンテーション
水曜/3日目	AIコース	アジア文化センター見学
木曜/4日目	AIコース	韓国語講座
金曜/5日目	AIコース	韓国語講座
土曜/6日目	韓国料理教室	麗水でのナイトクルーズ
日曜/7日目	麗水水族館見学	バス移動 (麗水→光州)



写真①寮内のカフェ



写真②韓国ドラマでも使われた大学の校舎



写真③麗水でのナイトクルーズ

短期留学

留学のタイトル：「世界最先端の知識獲得と研究を行う十分な英語スキルの向上」



留学先：タイ／バンコク／キングモンクット工科大学トンブリー校
留学期間：2024年 8/25月～ 9/21月
(4weeks:VISA不要)

氏名：泉 真寛
留学した時の学年：3年
学部・研究科名：理工学部
学科・課程名・コース名：システム創成工学科

● 留学の内容

前半 2 週間：タイ観光（ゾウ、アユタヤ遺跡、Japanese Village、ショッピング、工場見学、環境マネジメントの授業）

後半 2 週間：研究室インターシップ（IoTについて）

● 留学の動機

- 1, 英語力を向上させたかった
- 2, 世界トップクラスの工業大学で専門知識を獲得したかったから

● 留学の成果

- 1, 十分な英会話ができる位の英語能力の上達
- 2, 英語でのプレゼン資料の作り方と仕方
- 3, IoTに関する少しの専門知識（特にArduinoについて）

● これから留学したい人へアドバイス

・留学の目的を明確にする事が大切だと思います。私の場合、世界最先端の知識の獲得と研究遂行にあたって十分な英語能力の向上でした。しかし今回のプログラムでは世界最先端の知識はあまり獲得できず、英語能力は英会話程の上達でした。ならば最初から語学留学として語学学校に通えばよかったなと思います。研究や専門的な知識が欲しい方は長期の留学をお勧めします。もし英語のみを伸ばしたい場合は、語学学校などをお勧めします。海外が初めてで不安な方は1か月未満の留学をお勧めします（VISAが不要だから）。どれにおいても、自分が何故海外に行くのか、留学で何を学びたいのか、目的を明確にすると有意義な海外留学になると思います。

● 留学費用について

①総費用：約48万円

(内訳 渡航費11万円、学費+宿泊費30万円、交通費 1万円、食費 4万円、ビザ・保険料 1万円、お土産代 1万円)

②費用負担 自己負担36万円、留学奨学金12万円

③使ったお金の割合：現金90%、クレジットカード VISA10%

● 留学先宿舎について

・形態：ホテル

・家賃額：？(朝食含む)

・参考情報：W Station hotel ; <https://www.wstation.co>

● 語学力について

・現地で使用した言語：英語

・語学レベルUP：TOEIC70点ほど

・適正レベル：TOEIC 650~700点台が無難、500点台でも大丈夫

● ビザについて (取得した方)

未取得

● 単位互換について (該当ある方)

理工学部国際研修の2単位に換算予定

● ネット環境及びその他の参考情報

ホテルにフリーWi-Fi、学校は学校専用Wi-Fi

それ以外の場所はネット環境なし (eSIM, 現地でSIM購入、モバイルWi-Fi等、お勧めは現地か事前にSIM購入) ※docomoの海外プラン (1日2000~3000円)は高いのでお勧めはしない

● 留学中の主なスケジュール

前半2週間

曜日/日程	午前	午後
月曜	学校見学・自己紹介	〃
火曜	工場見学 (味の素・Thai Union)	工場見学 (Toyota)
水曜	アユタヤ遺跡	Japanese Village等
木曜	学校で環境マネジメントの授業	〃
金曜	学校で環境マネジメントの授業	水上レストランでランチ、シティツアー
土曜	シティツアー (ワットポー・タイマーケット)	〃
日曜	ゾウ (エレファントヘブン)	〃

後半2週間

月曜	8:00~ホテル出発、研究室配属決め	ArduinoやC言語の復習
火曜	8:00~出発、研究室で勉強 (Arduino)	〃
水曜	〃	現地のフィリピン人学生と英語で交流
木曜	8:00~出発、研究室で勉強 (Arduino)	〃
金曜	プレゼン資料・発表練習	英語で研究室インターシップの報告プレゼン
土曜	フリー	〃
日曜	〃	〃

短期留学

留学のタイトル：「特別な1か月」



留学先： タイ／バンコク／
キングモンクット工科大学
留学期間： 2024年 8月～ 9月
(1か月)

氏名： 高橋 葉
留学した時の学年： 3年
学部・研究科名： 理工学部
学科・課程名・コース名： システム創成学科知能メディア情報コース

● 留学の内容

理工学部国際研修に参加しタイへ行った。

前半2週間は東大生と岩大生のプログラムでサステナビリティについて学んだ。大学で講義を受けたり現地の自然や観光地に赴いたりしながら多角的に学びを深めた。

後半2週間はキングモンクット工科大学の研究室に赴き、自身の専門分野について知見を深めた。

● 留学の動機

先端理工学特別プログラムとしての卒業要件を満たさなければいけなかったから。まとまった時間がとれる大学生のうちに海外を経験し自分の知見を広げたかったという理由も大きい。

● 留学の成果

大学の方たちとコミュニケーションをとるのに英語を用いていたので英語によるコミュニケーション能力が格段に向上したと思う。また現地の学生らとの交流や現地での生活などの日本にいただけでは味わえない経験を通じていろいろな知見を獲得できた。

● スペシャルエピソード

タイの水道水は飲めないのだから飲料水を買う必要がありますがとても安く一本30円ほどです。しかし日本と違い硬水なのでお腹に合わないことがあります。現地の食事はスパイシーでオイリーです。私はこれらの食生活から1週間ほどお腹を壊してしまいましたが現地の病院で処方してもらった薬を飲んで一発で治りました。

● これから留学したい人へアドバイス

私は留学に行きたい気持ちを漠然と抱えていましたが一歩踏み出せないでいました。しかし卒業要件として取らなければいけなかったのだから一歩踏み出し、そのために英語学習に本腰を入れて取り組むようになりました。

留学に行くことを迷っている人は一歩踏み出してみてもいいのではないでしょうか。その一歩で筆舌しがたいほどの素晴らしい経験を得ることができます。まとまった時間がとれる大学生活を後悔のないように過ごしてください。

● 留学費用について

①総費用：502,000円

(内訳 渡航費110,000円、学費、宿舍費、食費320,000円、保険料12,000円、お土産代他60,000円)

②費用負担 自己負担152,000円、親からの支援180,000円、留学奨学金170,000円

③使ったお金の割合：現金 70%、クレジットカード (VISA) 30%、

● 留学先宿舎について

- ・形態：ホテル (名前：Wステーションホテル)
- ・家賃額：1か月 額 100,000円
- ・参考情報：朝食付き、英語対応可、綺麗、駅に近い

● 語学力について

- ・現地で使用した言語：英語
- ・語学レベルUP：留学前より格段に英語をアウトプットする力が向上した。
- ・適正レベル：TOEIC600点以上 (英語を聞いて話す素養を身につけておく必要がある)

● ビザについて (取得した方)

必要なし

● 単位互換について (該当ある方)

取得単位：「国際研修」

● ネット環境及びその他の参考情報

ホテル、大学はフリーWifi完備。Simカードは現地で買うと格安で手に入れることができる (私は1か月20Gを1200円で購入)

● 留学中の主なスケジュール (前半2週間)

曜日/日程	午前	午後
月曜/1日目	英語のアクティビティ	授業
火曜/2日目	工場見学	小旅行
水曜/3日目	工場見学	小旅行
木曜/4日目	授業	授業
金曜/5日目	工場見学	筋トレ、ショッピング
土曜/6日目	小旅行	小旅行
日曜/7日目	観光	観光



写真① Elephant Sanctuary



写真② 講義の様子



写真③ Wat Chaiwatthanaram

留学のタイトル：「アイスランドから見る岩手の農業～地熱を活用して農耕活性化を図る～」



留学先：国 アイスランド／地域 クヴェラゲルジ／都市
／機関名 world wide friends

留学期間：2024年9月2日～9月16日
(2週間)

氏名：阿部佑沙

留学した時の学年：3年

学部・研究科名：農学部

学科・課程名・コース名：植物生命科学科学科

●留学の内容

アイスランド・クベラゲルジにある温室栽培を行っている施設で野菜の播種・収穫とハーブティー作りを行う。

●留学の動機

この地域は地熱を利用した温室農業が盛んであり、日本では珍しい農業形態であったため、実際に現地に行き、栽培方法や販路の可能性を学びたいと考えたからです。

●留学の成果

温室を利用してお茶や野菜、熱帯果樹の栽培を行っていました。収穫した野菜や果物は栽培施設が運営しているカフェテリアに運ばれ、料理が提供されていました。

●スペシャルエピソード

現地に到着して4日間、39度の発熱と下痢が続きました。毎日10錠以上薬を服用してもなかなか治りませんでした。薬の持参は必須です。また、渡航の際にカナダ乗り換えで必要なビザの許可が下りたのがチェックイン締め切り15分前でした。3時間ほどカウンターで待機しました。乗り換えの数時間滞在でもビザが必要か事前に調べるといいと思います。

●これから留学したい人へアドバイス

外国人は英語を早口で話すため、複数人での会話についていくのはほぼ不可能でした。事前に日常会話と少し専門用語を勉強し、高速英会話を聞くことに慣れてから渡航するといいと思います。また、英語力に関して事情を伝えれば配慮してくれるので英語が苦手でも堂々としていきましょう！！

●留学費用について

①総費用：44万7,650円

(内訳 渡航費22万2,650円、活動費・宿舍費6万8,000円、食費1万円、ビザ・保険料2万7,000円、お土産代他3万円、参加費3万円、ホテル代4万円、国内移動費2万円)

②費用負担 自己負担3万円、親からの支援14万2,650円、留学奨学金27万5,000円

③使ったお金の割合：現金10%、クレジットカード(VISA) 90%

● 留学先宿舎について

- ・形態：シェアハウス・家賃額：週3万円（食費含む）
- ・参考情報：個室、温水プール付き、シャワールーム完備、共同生活、夜ごはん・清掃は当番制、土日は施設付属のカフェテリアからケーキやピザの差し入れあり

● 語学力について

- ・現地で使用した言語：英語
- ・語学レベルUP：英検準一級を取得していましたが、始めの数日間ほとんど聞き取れない、話せないの連続でした。しかし、次第に耳が慣れ、留学後にはほとんど問題なく英語で会話できるレベルまでに成長しました。
- ・適正レベル：英検一級

● ビザについて（取得した方）

- ・カナダ（乗り換えに必要）2万7,000円、許可まで3時間弱
- 本来は750円で取得できるのですが、ビザ発行の代理業者が複数あり、数日かかったり高額であったりする所があります。私は許可に時間がかかったため2回重複申請と、違う業者に1回申請したため、高額になってしまいました。

● ネット環境及びその他の参考情報

- ・スマホ、電子辞書、モバイルバッテリー・宿泊施設はWIFI完備

● 留学中の主なスケジュール

曜日/日程	午前	午後
月曜/1日目	野菜の収穫、水やり、野菜運搬	ハーブティーのカット
火曜/2日目	ハーブティーのカット、仕分け作業、野菜運搬	午前と同じ
水曜/3日目	播種作業、水やり、野菜運搬	野菜の収穫
木曜/4日目	カフェテリアのゴミ捨て、野菜運搬	ハーブティーのカット、仕分け作業
金曜/5日目	野菜の収穫、野菜運搬	ハーブティーのカット、仕分け作業
土曜/6日目	友人と観光旅行	オーロラ観賞
日曜/7日目	市内外観光	市内外観光



ハーブティーの仕分け作業の様子。各国の政治・文化・生活について話しながら作業しました。



39度の熱があった日。不思議な形をしたトマトを収穫しました。



夜になると毎日のようにオーロラを見ることができます。

短期留学

留学のタイトル：「オーバーン大学での獣医学生留学プログラム」



留学先：アメリカ合衆国 アラバマ州 オーバーン
Auburn 大学 (College of Veterinary Medicine)
留学期間：2024年 9月3日～9月28日
(約4週間)

氏名：水江陽菜
留学した時の学年：5年
学部・研究科名：農学部
学科・課程名・コース名：共同獣医学科

●留学の内容

主な内容はオーバーン大学の付属動物病院での臨床実習の見学です。自分の見たい診療科を選んで、オーバーン大学の獣医学生の臨床実習にオブザーバーとして参加することができます。診療科は小動物から大動物まで様々です。問診、身体検査、血液検査、画像診断、その他様々な検査や処置を見学できます。

●留学の動機

1つは英語力の向上です。英語学習がもともと好きで、大学生のうちに留学したいと思っていました。また、海外の獣医学生が何をどんな姿勢で学んでいるのか見てみたいと思っていました。

●留学の成果

オーバーン大学の獣医学生の姿に多くの刺激を受けました。モチベーションが上がっただけでなく、進路について考える良いきっかけにもなりました。また、学生や先生方とたくさんコミュニケーションをとることができ、英語力の向上を実感しました。

●スペシャルエピソード

- ・初めてアメリカ南部のアクセントを耳にし、最初は全く聞き取れず驚きました。
- ・大学のアメフトゲームを観戦しました。熱狂的なファンも多く、大盛り上がりでした。チアやマーチングバンドのパフォーマンスもあり必見です！

●これから留学したい人へアドバイス

留学に行けるチャンスがあるのならばぜひ行くべきだと思います。時間に余裕があり、奨学金制度を利用できるのは大学生の特権です！色んな不安があるかもしれませんが、頑張った分絶対に良い経験として自分に返ってくるはずです。私も最初はついていけるか不安でしたが、行ってみると本当に楽しくて、大学生活での1番の思い出の一つになりました。

● 留学費用について

① 総費用：約55万円

(内訳 渡航費約30万円、滞在費全般約11万、ビザ・保険料2万9000円・6570円、お土産代他約10万円、・・・)

② 費用負担 自己負担約10万円、親からの支援約40万円、留学奨学金約47万円(トレーニング費用と参加費が学部長賞により免除 + JASSO奨学金)

③ 使ったお金の割合：現金40%、クレジットカード60% (JCB) ※JCBカードが使えない場所もありました

● 留学先宿舎について

・形態：ホームステイ

・家賃額：約4週間 額 約11万円 (食費や光熱費などの生活費全般を含む)

・参考情報：自分の買い物をするときは自分のお財布から出しましたが、観光や外食のお金もこの生活費から出してくれました。

● 語学力について

・現地で使用した言語：英語

・語学レベルUP：留学前よりも日常会話での表現の幅が広がったことを実感しました。また、専門用語については適宜調べて覚えるように心掛けた結果、語彙が増えました。

・適正レベル：日常会話がなんとなくできれば大丈夫だと思います。専門用語については分かるに越したことはありませんが、分からなければ質問すれば良いのであまり気にしなくて大丈夫だと思います。

● ビザについて

B1ビザ 5月頃に申請し、8月の後半に東京で面接をして取得しました。(申請料：2万9000円)

● ネット環境及びその他の参考情報

携帯電話は海外ローミングを利用しました。ホストファミリーのお家と大学ではwi-fiを利用しました。

● 留学中の主なスケジュール

曜日/日程	午前	午後
月曜/1日目	8:30~ 診療の見学、お弁当	診療、大学近くでショッピング、夕食
火曜/2日目	8:30~ 診療の見学、お弁当	診療、夕食、ホストファミリーと映画鑑賞
水曜/3日目	8:30~ 診療の見学、大学近くで外食	診療、夕食
木曜/4日目	8:30~症例報告会→診療、お弁当	診療、スーパーで買い物、夕食
金曜/5日目	8:30~症例報告会→診療、みんなでお昼	診療、外で夕食
土曜/6日目	ホストファミリーと観光、バーベキュー	観光、夕食
日曜/7日目	ホストファミリーと教会へ、ショッピング	ショッピング、夕食



写真①オーバーン大学メインキャンパス



写真②皮膚科の先生方 & 一緒に実習したオーバーンの学生と



写真③大学近くのピザ屋さんものすごく大きくておいしい◎

タイトル：「

言語の壁を越えて広がる世界

」



行先：アメリカ／カリフォルニア州・オクラホマ州／アナハイム・タルサ

期間：2024年 8月～ 9月
(2週間)

氏名：佐藤鈴音

旅行した時の学年：2年

学部・研究科名：理工学部

学科・課程名・コース名：システム創成工学科機械科学コース

●海外体験の内容

友達といとこと3人でアメリカ旅行に行った。カリフォルニア州アナハイムに2日間、オクラホマ州タルサに11日間滞在した。タルサには日本人の叔母が住んでいて叔母の家でお世話になった。アナハイムでは2日間ディズニーランドで遊んだ。タルサでは川下り、ウォーターパーク、動物園、公園など毎日いろんな場所に連れて行ってもらった。ミズリー州ブランソンにも旅行に行った。タルサでは現地の人々の生活を体験して自分と違った価値観や考え方を学ぶことができた。

●動機

5年前に1人でアメリカを訪れたが、恥ずかしくて現地の人とあまり話さずに後悔した。外国人とのコミュニケーション能力と語学力が向上した現在、もう一度アメリカに行って悔いのない楽しい思い出を作りたいと思った。

●得たもの

初対面の人との会話が多かったため、簡潔に伝える力や自然な会話力が身についた。アナハイムでは自分たちで計画して行動したので自己管理能力が鍛えられたと思う。自分から話しかける積極性が徐々に高まり、現地で友達を作ることができた。

●スペシャルエピソード

自分たちが履いているサンダルや持っているバッグに興味を持ち話しかけられることが多かった。中には日本を好きな人や近々日本に来る人もいて30分以上話した人もいた。色んな国の料理に挑戦できるから毎食楽しみだった。アメリカのジェットコースターは高さ、速さ、角度、揺れ全部レベルが違うので苦手な人は要注意！！

●これから海外へ行きたい人へアドバイス

15歳の時は今より全然英語が話せませんでした。それでも無事にアメリカに行って帰ってくる事が出来ました。語学レベルに関係なくしっかりと準備をすれば問題なく海外を楽しむことができます。言語が違って相手に伝えたいという気持ちがあれば伝わります。特に初めて海外に行く方は不安だと思いますが、学校の国際課に相談に行ったり、海外の情報を集めたりして少しずつ準備を始めてみてください。皆さんが一步を踏み出して海外へ飛び立ち、皆さんの世界が広がることを願っています。

●費用について

①総費用：45万円

(内訳 渡航費25万円、宿舎費3万円、食費2万円、保険料1万円、お土産代他14万円)

②費用負担 自己負担40万円、親からの支援5万円、

③使ったお金の割合：現金5%、クレジットカード(三井住友)30%、バーコード決済65%

●宿泊先について

・形態：ホテル(アナハイム)／親戚の家(タルサ)

・家賃額：ホテル2日間 3万円

・参考情報：ホテルは朝食なし。

●語学力について

・現地で使用した言語：英語

・語学レベルUP：買い物で使うフレーズが身についた

・適正レベル：日常会話ができると楽しめる。英語が苦手でも大きな問題はない。

●ネット環境及びその他の参考情報

無料Wi-Fiが日本より充実していて公共の施設(ショッピングモールや博物館など)では無料Wi-Fiが利用できることが多い。データ通信も携帯会社のプランを使えば、現地に着いたら自動で海外モードに切り替えてインターネット接続することができるのでおすすめ。

オンライン手続きをしたものは確認画面を印刷して持っていくと安心。短期間の滞在であれば無くしたくない大事なものは持って行かない方が無難。現地で話した人に日本の飴やお菓子をあげるとすごく喜ばれた。クレジットカードの方が便利。何種類か持っておくと安心。

●主なスケジュール

曜日／日程	午前	午後
月曜/1日目	6時間かけてボートで川下りをした(写真①)	川下りの後、メキシコ料理を食べに行った(写真②)
火曜/2日目	ウォーターパークに行って泳いだ	夕方まで泳いだ後、ベトナム料理を食べに行った
水曜/3日目	スーパーや5ドルショップで買い物をした	庭でBBQ。伯父が夜ご飯を作ってくれた(写真③)
木曜/4日目	アウトレットで買い物をした	メキシコ料理を食べた後ゲームセンターで遊んだ
金曜/5日目	ギャザリングパークで遊んだ	日本料理店でラーメンを食べた
土曜/6日目	3時間かけてブランソンへ向かった	夕食の後マウンテンコースターに乗った
日曜/7日目	上下反転科学館で遊んだ	洞窟ツアーに参加した後タルサに戻った



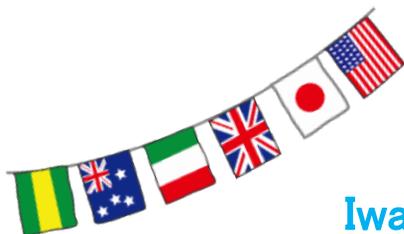
写真①6時間かけてボートで川下り



写真②超おいしいメキシコ料理



写真③おしゃべりしながら夜ご飯



多言語多文化交流空間

Iwate University Global Village グローバルビレッジ

Iwate University Global Village（岩手大学グローバルビレッジ）とは？

「地域に顕在化した諸課題をグローバルな視点から解決し発信できる人材の育成」を目的として、2016年4月学生センターB棟1階に開設しました。

グローバルビレッジでは

- ・英語などの各種外国語学修支援
 - ・国際交流・異文化体験・日本文化紹介など、留学生と日本人学生との各種交流
 - ・イベントによる多文化理解促進
 - ・地域で活躍するグローバル人材による講演
 - ・地域コミュニティとの国際交流活動
- など、楽しく、ためになるイベントを開催しています。詳しくはカレンダー、Web情報をご覧ください。

どんな人が参加するの？

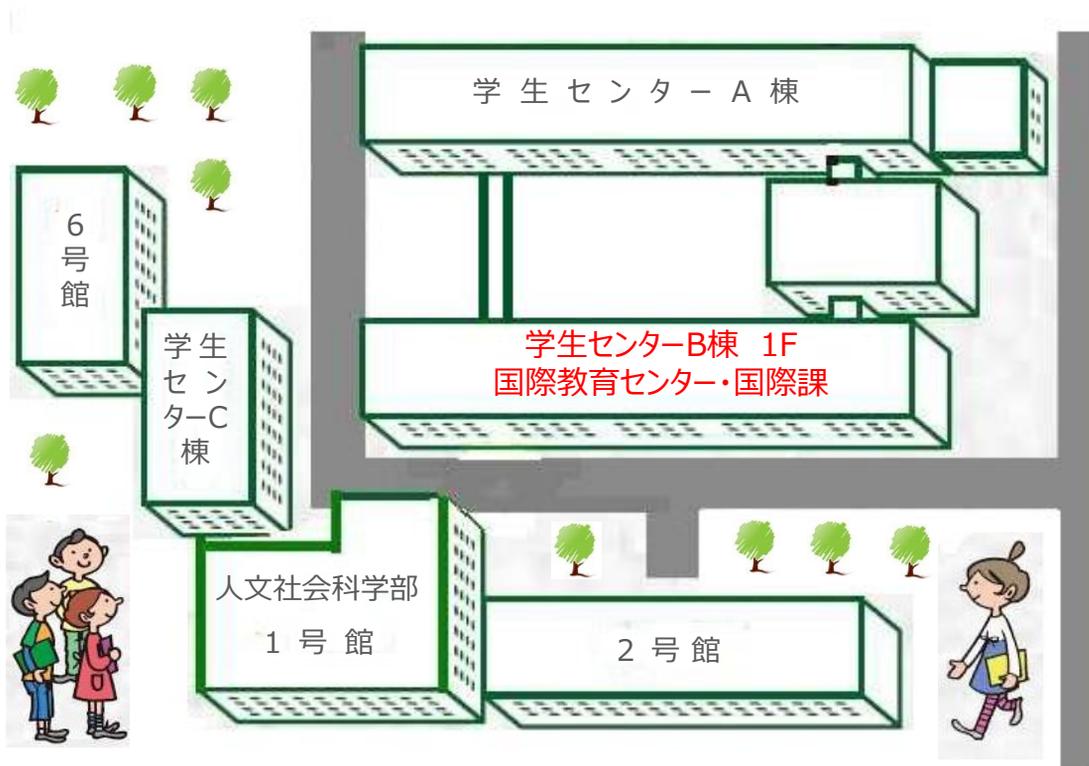
「留学生や様々な国の友達を作りたい」、「日本・岩手の文化を留学生に紹介したい」、「英語・多言語を使って異文化体験を試みたい」、「語学力をもっと鍛えたい」、「地域で活躍するグローバル人材とつながりたい」、そんな岩手大学の皆さんにお勧めです。一般の方にも参加いただけるイベント・講演会なども開催します。



詳しくはこちらまで：

 岩手大学グローバルビレッジホームページ 
<http://iuic.iwate-u.ac.jp/gv/event/>





留学に関心のある方、いつか留学してみたいという方を対象に個別相談を行っています。また「トビタテ！留学JAPAN」の申請サポートも行っています。希望する方は、メールで相談予約をしてください。

【お問い合わせ先】

国際教育センター 山内 亜美

電子メール： yamauchi@iwate-u.ac.jp

※相談希望日時をメールで第3希望までお知らせください。



お問い合わせ先

岩手大学国際教育センター
(学務部国際課)



岩手大学の国際交流

Iwate University International Office

住所：岩手県盛岡市上田三丁目18-34

電話：019-621-6057

電子メール：gryugaku@iwate-u.ac.jp

Web：<http://iuic.iwate-u.ac.jp/>





岩手大学国際交流のSNS

もご覧ください！！

留学や様々なイベントに関する情報が盛りだくさん！

Facebook **Twitter** **YouTube**



Website



Instagram



岩手大学国際交流

019-621-6076/6057

iuic@iwate-u.ac.jp

